

99年医学会総会の展示博覧会の概要

日本医学会は、平成11年春の第25回の総会で、初めて本格的な一般公開の“生命（いのち）の博覧会”を開催することにして、「社会とともにあゆむ医学 開かれた医療の世紀へ」を基本理念に、医学・医療・健康・福祉などについて、21世紀に向けて、あるべき姿を市民の皆さんとともに考え合う場とすることを目的とするものです。この理念に賛同する各企業や団体からの出展で、5つのパビリオンが構成される予定です。医薬品業界は、従来の総会における各社ごとの製品展示を見直し、日薬連が主体となった団体展示をすることになりました。

製薬協・広報委員会では、展示の具体的な企画を担当することになり、昨年以來業界内外から寄せられた幅広いご意見やアイデアをもとに、準備を進めてきました。現在までに、広報委員会としての最終案が固まりつつあるので、以下、その概要を紹介します。

1. 基本コンセプトとテーマ

展示博覧会の基本的なコンセプトは、

成熟化した社会における「病い」「健康」の概念変化を受けて、健康とは何か？ くすりとは何か？ を問い直す。

医療・医薬品の技術進歩が私たちにもたらした成果と将来への期待・夢を実感し合い、医療とQOL向上に果たす医薬品の重要な役割を訴える。

の二点であり、統一テーマとしては「人と病気の戦い」としています。

また、一般公開であることから、具体的な展示にあたっては、

より多くの市民の皆さんの興味を引きつけ、楽しく充実した体験をしていただくために、アミューズメントの要素を豊かに盛り込む。患者参加型の医療が求められている中、来場者の「知りたいこと」に対し、できるだけ答える接点を設ける。

ことについても、工夫していきたいと考えています。展示の内容は、次のようなものを計画しています。

2. 医薬品業界からのメッセージ

1) 「20世紀 薬と病いの戦い」

日本に近代医療が根づいた20世紀の初頭以降の「人と病気の戦い」にふれながら、医療・医薬品の技術進歩がわが国の人々にもたらした成果を実感し合う構成とします。

展示例としては、

- ・ 20世紀の医療技術と医薬品の発展譜
- ・ 近代医薬の発展に寄与した先人達の紹介
- ・ 医療に大きく貢献した医薬品の例
(抗生物質、抗潰瘍剤、降圧剤、など)

などを予定しています。

2) 「先端医薬・未来への夢」

医薬品産業は、

- ・ 「治療法が確立されていない疾病が数多く存在する中、これを解決するための画期的な新薬開発努力を続けている」
- ・ 「病気や健康、そして医療・治療の概念が変わりつつある中で、人々のQOL改善に貢献している」

などの基本メッセージに沿う形で、21世紀に向けての最先端の研究開発、創薬技術の現状を分かりやすく展示します。

展示例としては、

- ・循環器系疾患治療薬の開発
- ・ゲノム解析による創薬技術
- ・DDS技術
- ・QOL改善を目指す創薬

などのほか、新製品の開発プロセスや、臨床試験の実情なども解説したいと考えています。

3. 来場者参加型のコーナー

1) 「薬の相談室」

日本薬剤師会の協力のもと、薬剤師の皆さんから、薬に関する質問にお答えするコーナーとします。ここでは、各社の「くすり相談室」の方々のご協力もいただきたいと考えています。

また、人体への薬のはたらき、薬の正しい使い方なども合わせて紹介します。

2) 「セルフ・ケア」コーナー

薬との正しい付き合い方、その前提になる自分の体調を知り、興味を持って正しく理解してもらうための、参加型コーナーです。構成は、健康検査機器（血圧計、体脂肪計など）による、セルフ・ケアと自己チェックなどを想定しています。

4. アミューズメントの企画

1) 「人体ミクロ探検」

体感性、臨場感、参加体験性のある人体ミクロ探検をモチーフとした、立体音響映像シアター。近未来の医療技術を、ミクロ冒険を通して体験することをねらっています。

2) 「演示座」

医療・医学の世界をタレントや専門家が、楽しく分かりやすく解説する観客参加型スタジオ・ライブ形式での演示構成。

NHKの協力を得て、「生活ホット・モーニング」など現在放映されている番組を展示場に導入し、クイズや解説をおこないます。

このような展示を通じて、医薬品と医薬品産業について、社会からの正しい理解を得ることができればと期待しています。

会員各社の皆さんはじめ、関係各方面のご協力、ご支援をいただきながら成功させたいと願っ

ています。

第25回日本医学会総会・展示博覧会の概要

開催期間：1999年3月30日から4月8日の
10日間

場所：東京国際展示場“ビッグ・サイト”
(東京臨海副都心)

展示委員会：委員長 開原国立大蔵病院長

副委員長 片山順天堂大学学長

委員 片山埼玉医科大学教授ほか6
名、4団体

顧問 養老北里大学教授ほか6名

展示面積：総面積18,000m²(医薬品業界展
示は約3,000m²)

入場者予定数：30万人(有料の予定)

(広報委員会医学会総会展示プロジェクト座長
吉田豊次)